

令和6年度一般会計当初予算編成における財源不足の解消について

1 財源不足の状況

中期財政見通し（令和3年8月策定）では、約104.1億円の財源不足と見込んでおりましたが、予算編成方針を示達した9月時点では、約131.8億円の財源不足が生じました。

予算編成方針示達後、各部局の要求内容の精査により、予算要求の11月時点では、118.5億円の財源不足となりました。

(令和5年11月10日時点) (億円)

歳入(※)	歳出	財源不足
1,650.5	1,769.0	118.5

2 財源不足解消への対応策

(1) 歳出縮減策（主な事業は次ページに掲載）

要求事業費の見直し及び精査等のほか、国の補正予算による国庫支出金の活用による令和5年度2月補正予算への前倒しなどにより、66.9億円（一般財源46.7億円）の縮減を図りました。

(億円)

	歳出縮減額	うち一般財源
① 事業の見直し・優先順位付けによる縮減	24.7	18.7
② 2月補正への前倒し実施	24.2	5.7
③ 要求の精査による縮減	18.0	22.3
合計	66.9	(A) 46.7

(2) 歳入確保（財源対策）

歳出事業に合わせて市債等の特定財源の活用を図るとともに、市税収入見込みの時点修正及び国の地方財政計画の見込み、財政調整基金の40億円の繰入れ等により、71.8億円の財源対策を図りました。

なお、財政調整基金については、2月補正予算で約46億円を積み立てることにより、令和6年度末残高は、約94.0億円を確保できる見込みです。

(億円)

	予算要求 時点	予算案	差額	要因
市税	855.0	853.0	△ 2.0	定額減税の影響
市町村振興資金貸付金	0.0	2.7	2.7	地方債充当残額に充当
地方消費税交付金等	142.0	173.1	31.1	地方財政計画等による
財政調整基金	0.0	40.0	40.0	
合計	997.0	1,068.8	(B) 71.8	

財源不足額118.5億円は、歳出縮減（A）及び歳入確保（B）により解消し、収支均衡した予算を編成することができました。

以上

（事務担当 財務部財政課）

<歳出縮減策の主な事業> ※金額は事業費

① 事業の見直し・優先順位付けによる縮減

市民生活への影響に配慮し、特定財源の確保等に合わせるなど事業の縮減を図りました。

- ・ (諸整備費事業費 (小・中) )      △2.9億円  
一部の小・中学校における各改修工事等
- ・ (石名坂環境事業所整備費)      △2.4億円  
焼却施設の更新工事の一部
- ・ (妊娠・出産包括支援事業費)      △1.8億円  
出産子育て応援事業システム構築委託
- ・ (スポーツ施設整備費)      △1.0億円  
一部のスポーツ施設の劣化度調査、改修工事等

② 2月補正への前倒し実施

- ・ (学校施設環境整備事業費 (小・中) )      △12.6億円  
国の補正予算に伴う小・中学校における各改修工事等
- ・ (鵠南小学校改築事業費)      △2.5億円  
国の補正予算に伴う鵠南小学校改築工事
- ・ (遠藤葛原線新設事業費)      △2.2億円  
国の補正予算に伴う遠藤葛原線道路築造、舗装等工事
- ・ (津波避難施設整備事業費)      △2.2億円  
国の予算余剰に伴う津波避難施設用地の買戻し
- ・ (市道新設改良費)      △1.6億円  
国の補正予算に伴う辻堂駅周辺ほか自転車走行空間整備工事

③ 要求の精査による縮減

- ・ (光熱水費)      △2.1億円  
小中学校の直近の実績等に基づく見込みの精査
- ・ (障がい児通所給付費等事業費)      △1.9億円  
直近の実績等に基づく見込みの精査
- ・ (介護保険事業費特別会計繰出金)      △0.8億円  
直近の実績等に基づく見込みの精査